



2024.09.19

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

アストンマーティン、サステナブルなアルミ 鋳物開発 英国政府から 600 万ポンドの資金を調達

- 英国先端推進システム技術センター（APC）、アストンマーティンの 100%リサイクルアルミ 鋳造技術の研究開発に資金を提供



2024 年 9 月 17 日、ゲイドン（英国）：

サプライチェーンのサステナビリティを継続的に向上させるというアストンマーティンが掲げる目標は、英国政府から 600 万ポンドの資金提供を受けたことでさらに前進しました。この資金は、革新的なプロジェクトである軽量かつサステナブルなアルミニウム 鋳物開発に充てられ、未来のアストンマーティン車に還元されます。

競争的なプロセスを経て英国先端推進システム技術センター（APC）から得たこの政府補助金は、コヴェントリーを拠点とするアルミニウムのサプライヤーであるサーギンソンズ社が主導する 5 社共同研究開発プロジェクト「PIVOT」を支援します。アストンマーティンはこのプロジェクトの支援を通して、アルミニウム 鋳物の設計、重量、炭素排出量、生産量を全面的に見直して 100%リサイクル素材を使用し、世界の 鋳造業界に革命を起こすことを目標としています。

この資金提供に関する発表により、アストンマーティンのサステナビリティ戦略「**Racing. Green.**」（サプライチェーンが環境に及ぼす影響を改善する取り組み）は、新たに一步前進しました。アストンマーティンは8月、**CSR** ヨーロッパが推進する自動車サプライチェーンの社会的、倫理的、環境的パフォーマンスの向上に協力する自動車メーカー**16**社のパートナーシップ「**Drive Sustainability**」に正式に加入しました。

アストンマーティン・グループ最高技術責任者のロベルト・フェデリは、次のように述べています。「**APC**からの資金獲得は我々のプロジェクトにとって大きな後押しになります。**Project PIVOT**は先進的な金属凝固とデジタルツイン・シミュレーションを活用して低炭素合金を製造し、最終的にアストンマーティン車に搭載するリサイクル素材のレベル向上を目指しています。当社は、サーギンソズ社をはじめとする他の研究パートナーと協力してこのプロジェクトを進めることを楽しみにしています。昨年の当社の電動化プログラムへの支援に続き、**APC**の素晴らしいサポートに感謝いたします」

APC 最高経営責任者のイアン・コンスタンス氏は、次のように述べています。「これらの共同プロジェクトにより、自動車生産における英国の卓越性はさらに高まるでしょう。持続可能な素材から先進エレクトロニクス、さらにスマート・ソフトウェア・システムまで、自動車セクターが国のネットゼロ目標に不可欠であり、投資価値の高い機会であることを継続的に実証することが重要です」

アストンマーティンは、プラグイン・ハイブリッド車とバッテリー式電気自動車の導入を見据えた新設計パワートレイン・アプローチの一環として、内燃機関の代替システムを開発しています。その初代モデル「**Valhalla**」は、今年後半にフル生産に入り、**2025**年には納車開始予定です。

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって**1913**年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**Vanquish**、**DBX**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは**2025**年から**2030**年にかけて、**PHEV**と**BEV**を含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポ

ーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp